

令和3年12月23日

令和3年

第12回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和3年12月23日（木曜日）午後3時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史	教育長
三 留 利 夫 委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子 委 員	
高 橋 幸 子 委 員	
深 澤 佳 己 委 員	
北 内 英 章 委 員	

2 出席職員（13名）

教育総務部長	市 野 由香里
参事（教育施設担当）	森 岡 剛
教育総務課長	政 木 純 也
教育施設担当課長	田 中 佑 典
副参事（教育地域力担当）	丹 野 詩 織
副参事（施設調整担当）	荒 井 昭 二
学務課長	柳 沢 憲 一
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	岩 崎 政 弘
指導企画担当課長	早 川 隆 之
学校支援担当課長	根 本 勝 司
副参事（法務担当）	平 栗 敬 子
教育センター所長	中 村 純 子
大田図書館長	長 岡 誠

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

(午後 3 時 00 分開会)

○教育長

ただいまから、令和 3 年第 12 回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴希望者がおります。  
委員の皆様は傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは、禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしていますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に北内委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。  
続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、教育長の報告事項でございます。

○教育長

それでは、本日は、4 点についてご報告させていただきます。

まず、12 月 10 日に行われました、北糀谷小学校の研究発表会についてです。北糀谷小学校は、キャリア教育について研究発表していただきました。キャリア教育では、社会的・職業的な自立に向けての必要な能力や態度を養うことが大切ですけれども、北糀谷小学校におきましては、一人ひとりの主体的な意思決定に基づく実践に力を注いでいました。

公開授業では、子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいることが、大変印象的でした。子どもの様子から、キャリア教育の基盤には、友人、大人、人間に対する信頼が大切であると感じました。

家庭や先生方をはじめ、地域の方々の温かくきめ細やかな関わりの中で、安心して自分らしく生きていく意欲が育まれているように感じました。

北糀谷小学校は、地域の方が子どもたちにお話しする機会を豊富に設定していました。学校全体に家族のような温かい雰囲気・印象がございます。先生たちも大変熱心に協力して、指導にあたられていることが、よく分かりました。

特に、特別活動の場を利用して、自分自身を生かして、キャリア活動を促す働きかけが

学校全体に溢れていました。子どもたちが、自分に自信を持って安心して成長している様子がよく分かりました。

次に、2点目の報告は、12月13日に行われました東邦大学との連携による山王小学校における新型コロナウイルス感染症に関する特別授業についてです。

東邦大学の舘田教授をはじめ、助教授2人の先生による5年生に向けての特別授業でございました。3人の先生方のお話は、分かりやすく、山王小学校の子どもたちは、一生懸命に聞いていました。ウイルスがいかにか小さいかというお話や、どのように感染するかなどについて、イラストや演技等を交えてお話しいただきました。

私が感心したのは、講義が終わり、質問の時間になると、子どもたちの手が一斉に挙がったことです。この授業に対する関心、興味の高さがその手が挙がっている様子でよく分かりました。

また、質問の内容も、ウイルスというのは、そもそもどのようにして生まれたのかとか、白血球がウイルスをやっつけるという話があったのですが、白血球を増やすにはどうすればいいかなど、大人顔負けの鋭い質問がありました。

助教授の先生も一生懸命答えてくれましたが、それに対して各先生が補足するなど、大変レベルの高い質疑が行われたように思いました。子どもたちの好奇心の旺盛さに感心いたしました。

新型コロナウイルス感染症は、まだ今後を見通せない状況ですけれども、子どもたちが新型コロナウイルス感染症について知識を深め、それに基づいて対処し、予防する方法をしっかりと身に付けていくということが、重要であると考えています。

その授業の様子は、ホームページ等で掲載して、多くの子どもたちや保護者にも見て欲しいと思っています。

いずれにしても、子どもたちが、新型コロナウイルス感染症に対するリテラシーを持つように取り組むことが、大きな課題であるというふうに考えています。

それから、3点目は、12月15日に区議会こども文教委員会の議員方による小池小学校のICT教育、不登校特例校分教室の視察がありまして、それに一緒に行ってまいりました。

小池小学校の全学級の授業参観をしました。タブレット端末が学習においてどのように活用されるかということですが、どの学級でも、タブレット端末を日常的に活用して、学習を進めている様子がよく分かりました。

子どもたちは、もう十分にタブレット端末の活用慣れていて、動画を活用して記録をとったり、タブレット端末を使ってそれぞれの考え方を交流したり、まとめや考えの方向を考えたり、個別な課題に取り組んだり、実に多彩な活用の様子を見ることができました。

子どもたちが、生き生きとタブレット端末を操作している様子を拝見しますと、このタブレット端末の活用というのは、学習の幅、深さを広げていく大きな可能性を秘めたものであるということがよく分かりました。

今後、その活用について、さらに改善・充実を図っていきたいと考えております。

その後、視察した不登校特例校分教室、みらい教室では、子どもたちの学習の様子から、少人数の中で生徒たちが安心して学習に取り組んでいるなという様子がうかがわれました。空間的にも、非常に余裕がある中で、グループで実験に取り組んでいるような様子も見ら

れましたけれども、子どもたちにとって貴重な学びの場となっているということが、よく分かりました。

最後のご報告、4点目ですけれども、12月18日に、小学生駅伝大会が行われまして、午前と午後の部に分かれていたのですけれども、私は、午前の部に参加させていただきました。

2年ぶりの開催になりましたけれども、晴天に恵まれて、子どもたちが懸命に激走する姿が印象的でございました。

この小学生駅伝大会は、今回で第10回大会になるかと思いますが、選手ばかりでなくて、その駅伝大会に向けて、小学生がたくさん走り込むことにより、走る機会を持ったということが、やはり小学生の体力の向上にもつながっているのではないかと思います。本区は、箱根駅伝のコースにも入っているのですけれども、駅伝の文化が本区の中で根付いていけばいいかなと思っています。

駅伝競技では、一人ひとりが長い距離を走って、苦しさもあるのですけれども、頑張ったすきをつないでいくという体験が大切なことだと思います。

今の時代の中でつないでいくということが、非常に大事なのかなと思っています。命をつなぐであるとか、心をつなぐであるとか、伝統や文化をつなぐ、そのつながりの大切さということが、走るという行為で身をもって実感できる良い機会ではないかと思います。

それから、教育的な効果もあると思っています。

この小学生駅伝大会は、本当に多くの方々の熱心な協力で成り立っているのかなと思います。体育部、区の教育研究会、体育部の先生方、養護教諭、それから、それぞれを指導する担任の先生、校長先生、そのほかにも、消防署の方や東邦大学の専門的な看護の方に来ていただいたり、または、中学生が来て一緒に走ったり、大きな協力を得て行われていますけれども、走り終わった小学生を担任の先生が、よく走ったよと言って抱きかかえていくような光景を見ますと、先生と子どもたちのつながりが感じられ、大変に良い体験になっていると感じたところでございます。

それでは、何かご質問・ご意見はございますでしょうか。

### ○三留委員

ただいま教育長から北糀谷小学校の研究発表について話がございました。私も参加いたしましたけれども、キャリア教育の研究推進校ということで、大変特色ある研究がなされていたと感じました。

私からは、北糀谷小学校の研究に関連させて、大田区で目指してほしいキャリア教育の在り方について、考えを述べたいと思っております。

キャリア教育については、様々な変遷がございましたけれども、私なりに、これがポイントとなる出来事と思う部分をお話いたします。

キャリア教育については、昭和40年代にアメリカから始まって、日本でも徐々に浸透してきたところでございますけれども、中央教育審議会答申としては、平成11年の答申「今後の初等中等教育と高等教育の接続の改善について」に初めて言葉として登場いたしました。

このとき既に、小学校段階からのキャリア教育の実施の必要性が提言されていたところ

でございます。

しかし、その後、中学校・高等学校と比べると、小学校のキャリア教育実施については、なかなか進まなかったのが実情でございます。

今回の北糀谷小学校の研究発表は、この答申から実に 22 年経つわけですけれども、大田区の小学校キャリア教育が、ステップアップするきっかけになるものと思っております。

現在のキャリア教育の方向性をつくったのが、平成 14 年の国立教育政策研究所のキャリア教育に関わる報告書になります。これにより、社会的・職業的自立に向けた能力が示されて、全国に実践が広がりました。

平成 23 年の中央教育審議会答申では、現在行っているキャリア教育の方向性が示され、平成 29 年の学習指導要領を経て、今日に至っているわけでございます。

キャリア教育は、教科横断的な学習の中でも、別格的な存在だと思います。

大田区では、御園中学校、矢口中学校などの中学校では、先進的に優れた実践がありましたけれども、小学校で本格的にキャリア教育に取り組んだのは、私の記憶では、北糀谷小学校が初めてだと思います。

進路指導と関連する中学校のキャリア教育と違って、小学校は、生き方教育が中心になっております。これまでなかなかキャリア教育が進みませんでした。子どもたちを取り巻く社会環境の変化、雇用の多様化・流動化などが見られる世の中の変化の状況を考えると、勤労観・職業観の醸成を含めて、小学校からしっかり取り組んでいく必要があると私は考えております。

キャリア教育に関わって、それまで学習指導要領の総則では、「自らの将来について考える機会を設ける」程度の記述でしたが、今回の学習指導要領では、「社会的・職業的自立に向け」という言葉とともに、キャリア教育の用語が文言として、新しく入れられております。

次に、キャリア教育の定義についてです。中央教育審議会答申で出されたキャリア教育の定義については、平成 11 年の答申では、「主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」となっておりましたけれども、平成 23 年の答申では、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、キャリア発達を促す教育」となっております。

そのために必要な基盤となる能力が育ってくるのが大切で、小学校におけるキャリア教育の必要性は、ますます高まっていると思います。

今後は、キャリア教育において、キャリア発達というキーワードが重要になります。講師の安部恭子教育課程調査官によりますと、キャリア発達とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」ということで、今後、このことを念頭に置いた教育活動を進めていく必要があると思います。

次に大田区のキャリア教育実施にあたって望むことが 3 点あります。これは、北糀谷小学校の研究のポイントにほかならないと思います。

1 点目は、特別活動を要としたカリキュラム・マネジメントによるキャリア教育にしっかりと取り組んでほしいということです。

特別活動の目標の中に、「人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う」がありますが、これは、まさしくキャリア教育の基底となることだと思います。特別活動を要することを総則に示したのは、当然なことともいえます。

また、今回の学習指導要領の改定で、学級活動の（３）に「一人一人のキャリア形成と自己実現」が示され、小学校においても、社会参画意識の醸成や働くことの意味などを扱うことが明確になりました。

北糀谷小学校の授業実践や指導計画を見ると、学級活動の（３）に示された様々な内容をきちんと取り入れています。当日は、各学年で（３）に関わる授業が展開され、子どもたちが、当番を係活動で頑張ることや、自分の夢・将来について意見交流をしていました。

学級活動の授業では、「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」の学習過程を示していました。これは、指導要領のおそらく（２）、（３）のみを想定した過程だと思えますけれども、友達と関わり合いながら、自己決定をする場面も取り入れる、とても大切なことだと感じております。

当日の各学年の授業には、キャリア教育に関わる生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業もありました。総則に示されている「教科等の特質に応じたキャリア教育」に関わる学習の展開がなされていたと感じました。

教科のねらいとは別に、キャリア教育としてのねらいが示されておりました。日常の授業においても、学習指導案にキャリア教育に関わることを明示するなどして、積極的に取り組んでほしいと思っております。

２点目は、児童に育てたい能力を明確にして、実践に取り組んでほしいということでございます。キャリア教育で育てたい能力については、先ほどお話しした、平成 14 年の国立教育政策研究所の報告書で 4 領域 8 能力が提示されたことから始まり、実践が進められてきました。

平成 23 年の中央教育審議会答申で、基礎的汎用的能力の 4 つの能力が示され、北糀谷小学校もこれに沿っています。4 つの能力とは、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」になります。

研究リーフレットには、全体計画、年間指導計画が載せられていましたが、小学校は、進路の探索・選択に関わる基盤形成の時期と位置付けて、この 4 つの能力に関わった低・中・高学年ごとの活動内容を学校、児童の実態に合わせて整理しております。区内の各学校では、北糀谷小学校の資料を参考に、改めてキャリア教育の全体計画、年間指導計画を練り直す必要があると思えます。

３点目は、地域の人材等と連携して取り組んでほしいということです。小学校学習指導要領の解説総則編では、キャリア教育の実施にあたって、地域住民等と目標やビジョンを共有し、連携・協働して児童を育てていくことを求めています。

北糀谷小学校では、地域企業による出前授業や職業インタビューなど、様々な活動を行っていました。当日の授業でも、社会科や総合的な学習の時間の授業で、地域の工場と連携した取組を行っていました。

大田区は、都の地域学校協働活動の実施区ともなっているところですが、キャリア教育においても、地域と協働した取組を各学校で進めていく必要があると思えます。

以上の 3 点について、大田区の学校で取組を進めていただきたいと思っております。

最後に、キャリア・パスポートについて触れます。キャリア・パスポートについては、平成 28 年の中央教育審議会答申において提示され、昨年度から実施となっています。その目的は、「小学校から高等学校を通じて、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、

振り返ったりして自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐ」となっています。

それ以前から、キャリアノートなどの名称で、先行実施している市町村もありました。ほとんどが、ポートフォリオ形式で、時々の記事や体験などの自己評価や思いなどを蓄積していく形式を採っています。

都内の区市で、自治体として取り組んでいるところもありますが、取組に温度差があるとか、校種間の引き継ぎがうまくできないなど、課題も見え始めているところがございます。

文部科学省の事例集や北糶谷小学校、矢口中学校などの実践を参考に、大田区内でも、効果的なキャリア・パスポートの在り方について、さらに、実践検討を進めてもらいたいと考えております。

#### ○教育長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見・ご質問はありますか。

#### ○弘瀬委員

11月28日の馬込第二小学校の90周年式典に出席してまいりました。5、6年生の出席と父兄・来賓の人数制限をした式典ではありましたが、新型コロナウイルス感染症予防のための学校側の配慮が感じられました。

式は、金管楽器の演奏で始まり、校長先生からのお話で、戦争による児童・生徒の人数の増減など、90年の歴史の重みを感じました。

松原区長、小黒教育長から、祝辞、オリンピック憲章の読み上げ、日々努力することの大切さなどの話がありました。

その中で、昔、文士村と呼ばれて、多くの文豪が住んでいたということで、馬込第二小学校の卒業生の中で、教科書にも載っている川崎洋先生の詩の朗読を聞かせていただきました。コロナ禍でありましたが、非常に良く考えられた素晴らしい式典だったと思いました。

3年ぶりに前校長の増田先生にもご挨拶いたしました。

また、12月13日、山王小学校にて東邦大学医学部教授、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会メンバーの舘田教授の授業があるということで出席させていただきました。

大田区では、東邦大学と連携して地域連携感染制御学講座を設置しており、区民の命と生活を守るための感染症対策に取り組んでいるということでした。

今回は、第6波に備えて、5年生を対象にした感染症についてのお話がありました。初めは、舘田教授から新型コロナウイルスの大きさ、飛沫感染、接触感染など、コロナウイルスの感染経路についてお話がありました。

それと、誰もがどんなに予防しても感染してしまうことがあるので、仲間はずれにしてはいけないという大変重要な話があり、その後、2人の助教授からも感染の基礎的なお話、感染予防についての話があり、子どもたちは、真剣にメモを取りながら聞いていました。

最後に、子どもたちの質問に対して、先生方から丁寧に答えていただきました。



その先生たちへのお礼として、最後に子どもたちから、夜更かしはしない、偏食などしないで規則正しい生活をします。そして、感染症から身を守る努力をしたいという話も、子どもたちはしていました。とてもいいお話を聞けたと思います。

それから、12月18日に、第10回小学生駅伝大会に行ってきました。小黒教育長が午前中の参加でしたが、私は、午後からの参加となりました。

一昨年は、曇り時々晴れのような、とても寒い駅伝でしたけれども、今年は、晴れて気持ちがいい中での開催となり、子どもたちは思う存分走ったのではないかなと思っています。

まず、ロードレースから始まって、そして、駅伝が行われました。感染防止から大きな声での観戦は中止だということがありましたけど、つつい応援していると声が出てしまいました。

結果は、色々と思うところもあるのでしょうけれども、元気に走りながら、たすきをつないでいけたことが、思い出に残ったのではないかなと思っています。児童だけではなくて、先生方の笑顔も久しぶりに見られました。素晴らしい思い出となった駅伝だと思います。

#### ○教育長

ありがとうございます。  
ほかにございますか。

#### ○高橋委員

私からは、2点、報告します。

1点目は、11月27日に、矢口西小学校の開校100周年記念の式典、祝賀セレモニーに参列しました。矢口西小学校では、90周年からやっているということでしたが、式典が始まる前に、各クラス毎でそれぞれ思いを込めて製作したおみこしが1時間ほど地域を回っていました。

それで、そのおみこしに、各クラスの児童がついて回るのですが、花笠踊りや、それぞれのクラスごとにパフォーマンスを工夫して、盛り上げていました。地域の方たちも楽しみにいつ来るかなという感じで待っているような、そんな雰囲気でした。

祝賀セレモニーでは、地域から寄贈された楽器も加わって、演奏があったのですけれども、とても豪華で立派な演奏でした。地域とともに100周年という思いをとても強く感じました。

2点目は、先ほどから話がありました、北糺谷小学校の研究発表なのですが、なりたい自分について、将来の仕事やどんな人になりたいかななどを決めて、教室の廊下に掲示していました。

公開授業では、なりたい姿と今頑張ることについて考えていました。

自主学習の必要性など、夢と勉強はつながっていることを示し、タブレット端末の有効的な使い方を勉強していました。

6年生の発表がはきはきとしていて、とてもしっかりした印象を受けました。

## ○教育長

ほかにございますか。

## ○北内委員

私は、11月27日に、矢口西小学校の開校100周年記念式典、翌日28日に、馬込第二小学校開校90周年記念式典、12月4日に、中富小学校開校70周年記念式典に出席させてもらいました。周年行事は、やはり子どもたちにとって、大人になっても記憶に残るし、地域・学校を誇りに思える大切な学校行事だと私は思っています。

コロナ禍で立派な式典をやっていただいた先生方、PTA 実行委員会の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

それから、12月11日に、田園調布小学校の道徳授業地区公開講座で話させていただきました。

その日はちょうど学校公開、地域教育連絡協議会開催日であったため、保護者、先生、地域の方々が出席してくださいました。

私からは、感謝の気持ちと、地域で子どもを育てることが大切だと思っておりますというお話をさせていただきました。

保護者からは、コロナ禍で、学校とのコミュニケーションの難しさについて苦勞をされていることについて伺いました。

私からは、コミュニケーションは難しいけれども、様々なツールを使用し、コロナ禍だからこそ、コミュニケーションを密にとったほうがいいですよとお話しさせていただきました。

同じく、12月11日、午後に蒲田小学校 PTA からお誘いを受け、PTA 主催のクリスマス会に出席させていただきました。PTA がサポートしますが、6年生が主体となって会を運営していました。午後に時間帯を開けて、1年、2年、3年、4年、5年と順番に来て、子どもたちが、クリスマスツリーに飾り付けをしていました。体育館にクリスマスツリーがあって、そこに子どもたちが事前に作っておいた飾り付けを貼っていくことで、6年生のお兄さん・お姉さんからプレゼントをいただいていた。

そして、記念撮影できるブースもありました。インスタントカメラで PTA が撮影し、その場で写真がもらえました。

6年生の皆さんは、立派にリードして、低学年・中学年の子どもたちを引率していました。コロナ禍で大変な中、よくここまでやってくださったと私は思いました。PTA たちはすごく頑張ってくれているというのを思いました。感謝申し上げます。

それから、私も12月18日に小学生駅伝大会に出席させていただきました。晴天の中で開催されて、児童たちの一生懸命走る姿を見て、感動しました。

校長先生、教職員、関係者団体の方々に感謝を申し上げます。

ちょうど弘瀬委員と同じ時間帯に出席させていただきましたのですが、1人の児童の体調が急変しました。

そうしたら、弘瀬委員が急遽見てください、事なきを得ました。ありがとうございました。

## ○深澤委員

私は、山王小学校の館田先生の特別授業を映像で拝見いたしました。今、皆さんからお話があったので重複してしまうのですが、私がすごく分かりやすいと思ったのが、三大予防のために必要な条件である手洗い、うがい、換気というのがなぜ必要なのかというところから説明してくださっていたところです。

例えば、換気であれば、最初は微生物の大きさに関する説明から入り、マイクロ飛沫が飛ぶのが1メートルくらいだから、換気をすることによって、そのマイクロ飛沫を飛ばすことができるというような説明をしてくださいました。非常に分かりやすかったということと、今回学校にいらっしゃった3人は微生物博士で、微生物博士は何をやるのかというようなご説明も受けました。

それで、微生物博士は、例えば、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのような微生物はどういう動きをするのか、ワクチンは本当に効いているのかというようなことを調べていくというようなお仕事のご紹介がありました。

先ほど、キャリア教育の話が出ていましたが、今、新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に大きな影響を与えており、そういう中で、最先端で研究していらっしゃる先生方のお話を子どもたちが間近で聞けることができたということが、本当に生きた授業であると感じまして、子どもたちの心に非常に響くキャリア教育だろうと感じた次第です。

## ○教育長

ありがとうございました。

ほかにご質問はありますでしょうか。

## ○三留委員

私も、周年式典のことを報告したいと思います。私は、矢口小学校と馬込第二小学校の式典に参加しました。矢口小学校は、教育委員会として、私一人で参加をさせていただきました。矢口小学校も馬込第二小学校もそうだったのですけれども、呼びかけなどの様子も含め、子どもたちが、学校の代表としてしっかりやろうという気持ちが表れたとてもいい式典だったと思います。

みんなマスクをして、歌も大きな声で歌えないというのは、とても残念なのですが、厳粛な式典に参加して、経験を積むということが、私はとても大事なことだと思っています。

両校に共通していることは、地域の方々が学校を大切にされているということです。周年を祝う横断幕が地域に貼られていたり、地域の皆様がいろいろとご挨拶をしたりする様子から、地域の方が本当に学校のことを心配して、援助、応援してくれているということが分かりました。大田区は、地域力を標榜していますけれども、やはり「地域あつての学校」ということを、改めて思いました。

私も、東邦大学の3人の先生の特別授業をビデオで見させていただきましたけれども、先進医療を研究されている専門家の素晴らしさを感じました。

保健の教科書にあるような内容のことなのですが、図解など、とても工夫をされており、子どもを教える専門家ではないのですが、分かりやすく伝えるということ

ができていますと感心しました。山王小学校の子どもたちだけではなくて、たくさんのおともだちに見せたいと思いました。

子どもたちにとってもいい授業、よい体験をさせていただいたと感謝いたします。

○教育長

それでは、ほかにご質問・ご意見、よろしいですか。

それでは、これもちまして、令和3年第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後3時38分閉会)

令和3年 第12回 教育委員会 定例会 12月23日(木) 午後3:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和3年12月23日

令和3年第12回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項